

授業科目 高次機能障害学

【担当教員名】 能登 真一		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GIO】 脳損傷によっておこるさまざまな高次脳機能障害について、理学療法士が臨床現場でそれらを的確に評価し、あるいはそれらの障害に対する的確なアプローチができるように、基礎知識を整理した上で、評価方法、アプローチ方法などを学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 高次脳機能障害を学ぶための脳解剖知識が整理できる。 2. 高次脳機能障害がおこるメカニズムを理解できる。 3. 高次脳機能障害の個々の症状を列記できる。 4. それぞれの高次脳機能障害に対応する評価方法を述べ、一部を実施できる。 5. 個々の高次脳機能障害に対するアプローチの基本姿勢を説明することができる。 6. 個々の高次脳機能障害に対するアプローチ方法について、議論できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脳解剖の整理と高次脳機能障害の概説			1	講義
2	高次脳機能障害の臨床像			2, 3	講義
3	失語、失行、失認とその評価・アプローチ方法			3～6	講義
4	注意障害、記憶障害とその評価・アプローチ方法			3～6	講義
5	半側空間無視とその評価・アプローチ方法			3～6	講義
6	Pusher症候群とその評価・アプローチ方法			3～6	講義
7	前頭葉症状とその評価・アプローチ方法			3～6	講義
8	まとめ			1～6	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		今のところ未定			
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席＋期末試験によって判定する			【履修上の留意点】		